

CG-200 の新機能



Version : V_Jan.20.2018

CG-200 の最新リリースにはいくつかの新機能があります。この情報をユーザガイドに追加できるように、ここで簡単に説明します。何らかの自動化を提供するという顧客の要望により、新しい機能が追加されました。

■ Grouping

画面上の複数のオブジェクトを同時に制御することが便利な場合もあります。

たとえば、スポーツイベントのスコアを2つの別々のオブジェクト(家や訪問者のようなもの)に表示する必要があるかもしれませんが、この2つのオブジェクトを同時に表示する必要があります。

以前のバージョンでこの動作を実現する唯一の方法は、別のページファイルを作成して再生することでした。しかし、カウントダウンタイマーのような他のオブジェクトを同時に制御することは困難です。

これで、“group”という新しいオブジェクトプロパティが作成されました。

これは基本的に任意のテキスト文字列にすることができるタグです。

複数のオブジェクトが同じ「グループ」タグを持つ場合、それらは常に一緒に制御されます。

ユーザーがそのようなオブジェクトのいずれかをダブルクリックして再生すると、同じ「グループ」タグを持つすべてのオブジェクトが再生されます。

ユーザーがこのようなオブジェクトを選択して「停止」、「終了」または「一時停止」をクリックすると、この操作は同じ「グループ」タグを持つすべてのオブジェクトに適用されます。

デフォルトでは、オブジェクトには「グループ」タグはありません。ユーザーが「グループ」プロパティをクリックすると、既存の「グループ」タグのドロップダウンリストから選択するか、テキストを手動で入力することができます。

■ Hotkeys

ホットキーは、繰り返し操作を簡素化する方法です。

オブジェクトをダブルクリックして再生を開始または終了する代わりに、このオブジェクトにホットキーを割り当ててから、このキーの組み合わせを押して同じ目標を達成することができます。

使用可能なホットキーは、Ctrl + 0～Ctrl + 9、Alt + 0～Alt + 9 です。

デフォルトでは、新しく作成されたオブジェクトにホットキーは割り当てられません。

ユーザーは、一度に複数のオブジェクトに 1 つのホットキーを割り当てることができます。

このキーの組み合わせを押すと、そのようなすべてのオブジェクトに同時に影響します。

■ Scripts

スクリプトは一連のアクションを自動化するために使用されます。

たとえば、ページファイルをロードしたり、オブジェクトの一部を再生したり、10 秒待ったり、他のオブジェクトを再生したり、別のページファイルを読み込んだりするなどして待機する必要があります。

これはデモにも役立ちます。

スクリプトは単なる一連のアクションです。

スクリプトを定義し、特別なファイル(.script)に保存して後で読み込むスクリプトエディタがあります。

保存されたスクリプトファイルは、ページファイルとともに CG-200 の左側パネルに表示されます。

アクションタイプはかなり自明です。

アクションは、すべてのオブジェクトに適用することも、特定の「グループ」名を持つオブジェクトにのみ適用することもできます。スクリプトは無期限にループすることもできます(ループチェックボックス)。

スクリプトファイルの数に制限はありませんが、任意の時点で 1 つのアクティブなスクリプトしか存在しない可能性があります。

CG-200 ウィンドウ下部のステータスバーにスクリプトの再生状態が表示されます。

CG-200 にエラーが発生した場合(例えば、ページファイルをロードできないなど)、スクリプトの再生が停止されます。

ページファイルの読み込み、オブジェクトの追加や削除などの手動操作を行うと、スクリプトの再生も自動的に停止します。

■ Automation

場合によっては、スケジュール通りに CG を操作する必要があります。

オートメーションウィンドウでは、特定の日付と時刻にスクリプトを結びつけることができます。

CG-200 の起動時に 1 つのスクリプトを再生するように設定することもできます。

スクリプトを起動する条件が満たされていない場合（たとえば、CG-200 ソフトウェアが指定された時間に実行されていないか、または HDMI 出力がアクティブになっていないなど）、スクリプトは起動せず、エラーメッセージも表示されません。

オートメーションウィンドウでは、スクリプトファイルをホットキーにバインドすることもできます。

キーの組み合わせを押すと、指定されたスクリプトがロードされ、再生されます。

「グローバルホットキー」を有効にすると、CG-200 をフォアグラウンドで実行する必要はなく、その時点で他のアプリケーションで作業していてもアクションが開始されます。

もちろん、CG-200 を起動しておく必要があります。

スクリプトのホットキーがオブジェクトのホットキーよりも優先されます。

ホットキーがオブジェクトとスクリプトファイルの両方に割り当てられていることを確認するためのチェックは行われません。ユーザーはそれに注意する必要があります。